

給水装置番号 専・第 号

給水装置工事検査表

| | | |
|----|-----|----|
| 系長 | 水道係 | 受付 |
| | | |

| No. | 検査項目 | 第1次検査 | | 第2次検査 | |
|-----|------|-------|-----|-------|-----|
| | | 合格 | 不合格 | 合格 | 不合格 |
| 1 | 防寒装置 | | | | |

記入例です。
赤字の文字を参考に記入してください。
※実際の記入は黒字で記入してください

給水装置場所が、**白沢・利根・上久屋**の場合は、給水装置工事検査願を提出する際に、検査手数料を納入してください。
手数料の金額は
新設・1550円
改造・1500円になっています。

給水装置工事検査願
令和 ○年 ×月 △日

沼田市長 様

(住所) 沼田市×××町1234番地

指定工事業者 (氏名) 株式会社 ○×水道

下記のとおり給水装置工事がしゅん工しましたので検査してください。

| | | | | | |
|----|------|--|--|--|--|
| 11 | 施工状態 | | | | |
|----|------|--|--|--|--|

給水装置場所 沼田市 ○○○ 町 1234 番地 56

(住所) 沼田市△△△町888番地

(フリガナ) **ヌマタ タロウ**

(氏名) **沼田 太郎**

工事申請者の住所や給水装置場所などが、申込時と相違がないように記入してください。

工事の種別 **新設・本管取り出し**

本設メーター φ mm

仮設メーター 設置期間 ~
No. 指針

提出時に検査日程の希望日時を伝えてください。予約状況を確認して、検査日を決めます。

※後日、電話での日程調節も可能です。
沼田市役所 上下水道整備課 水道係宛にご連絡ください。

備考

| | | |
|----------|-------------|--------|
| 令和 年 月 日 | 検査結果 合格・不合格 | 合格・不合格 |
| | 検査員 (印) | (印) |

(表 面)

| 受付番号 No. | 受付日 | 令和 年 月 日 | 給水装置番号 専・第 号 | 使用材料 | | | 備考 |
|-------------|---|-------------------|--------------|--|-----------|-------|----|
| | | | | 品名 | 形状寸法 | 数量 | |
| 給水装置工事設計書 | | | | | | | |
| 工事場所 | 沼田市 ○○○ 町 1234 番地 56 | | | ポリエチレン二層管 | φ 20 | 3.5 m | |
| 給水装置所有者 | (氏名) 沼田 太郎 | (住所) 沼田市△△△町888番地 | | HIVP | φ 13 | 30 m | |
| 給水装置使用者 | (氏名) 沼田 太郎 | (住所) 沼田市△△△町889番地 | | HIVPソケット | φ 13 | 5 個 | |
| 分岐承諾者 | (氏名) | (住所) | | HIVPエルボ | φ 13 | 3 個 | |
| 工事期間 | 令和 ○ 年 △ 月 1 日 ~ 令和 ○ 年 × 月 31 日 | | | HIVPチーズ | φ 13 | 1 個 | |
| 指定工事業者 | 株式会社 ○×水道 | | 主任技術者 ○× 光男 | 不凍栓 | φ 20×450H | 1 個 | |
| 工事の種別 | 新設・本管取り出し | | | メーターユニット | φ 20 | 1 個 | |
| 検 査 欄 | 給水装置所有者、使用者の住所や工事場所などが、申込時と、相違がないように記入してください。 | | | ボール止水栓 | φ 20 | 1 個 | |
| | | | | サドル分水栓 | φ 75×φ 20 | 1 個 | |
| | | | | ポリ管継手 | φ 20 | 3 個 | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 位 置 図 | 工事場所が分かる位置図を貼り付けるか、別紙で地図を申請と一緒に提出してください。 | | | 使用材料は、漏れがないように使った材料をすべて記載してください。また、給水装置工事しゅん工図と使用材料の個数や種類が一致するように記入してください。 | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

(裏 面)

給水装置工事しゅん工図

実際に現地と一致した図を作成してください。
給水管の口径や品名、継ぎ手類などを、できるだけ、どの箇所で使用しているか、詳しく書いてください。また、給水装置工事設計書の使用材料欄で記入した材料の記載不足や使用材料と計画図に相違がないようにしゅん工図を作成してください。

※ 工事箇所が一見して分かるよう、道路、家屋、付近著名なる物等を記入すること。新設、既設の別、市本管取出し工事か、他人引込線より分岐引用かを図示または記入すること。